



ぴよぴよ

2024年 8月

たかがみねこども園

北区鷹峯土天井町53

TEL: 491-3300

8月の予定

☆楽しいリトミック♪&友遊館で遊ぼう

(8/7・水) AM10:00~11:30 場所: 友遊館

※ 『楽しいリトミック』は10:00~10:30までです。その後、友遊館で遊びます。

《来園の際のお願い》

園へお越しの際には、

- 事前に検温をしてください (保護者・お子さま)
- 発熱 (37.5度以上) や風邪の症状 (咳・鼻水・下痢など) がある場合は利用をご遠慮ください。
- 暑いのでお茶など、各自でお持ちください。



~おすすめ絵本~

『タンタンのぼうし』

作: いわむら かずお

発行: 偕成社

タンタンの大好きなぼうし。ととてもとてもゆかいなぼうし。くるくるまわしたり、ころころ転がしたり。ひょいっと投げると、いろんなことが起こります。犬のしっぽにかかったり、バツタをつかまえたり、栗と一緒に落ちてきたり、小鳥をつかまえちゃったり! もっともっと高く、やあっと投げると・・・暗くなっても、眠くなっても落ちてこないぼうし。今度は何が起こるかな?



熱中症は大人が注意することで防ぐことができる！

体温調節機能が未熟な乳幼児は、大人より外気の影響を受けやすいと言われています。そのため、炎天下や直射日光の下にいても高温多湿な環境で長時間過ごすと、熱が体内にこもったり、水分不足になって熱中症を起こしてしまいます。



赤ちゃん・子どもが熱中症になりやすい要因

1. 赤ちゃんに厚着をさせて体温が上昇

夏に厚着をさせると、体に熱がこもります。発熱したからとさらに保温して、熱中症を重症化させることもありますので、気をつけましょう。

2. 子どもを炎天下で遊ばせたままにいる

帽子をかぶらせないまま、炎天下の公園やプールなどで遊びに夢中になっていると、気づいたときには暑さでぐったりということも。重症になると水分も受けつけなくなります。また、炎天下の日のお散歩にも注意しましょう。照り返しの強い道路では、地面に近い位置にいる子どもは、より暑さの影響を受けやすくなります。短時間の散歩でも熱中症になることがあります。お散歩や外遊びは暑い時間帯を避け、こまめに水分補給、休憩をとることが大切です。

3. エアコンが切れた車に置き去りにする

いちばん多い事故は、スーパーやコンビニなどに駐車中、車内のチャイルドシートに乗せたまま、買い物などで離れたときに起きることです。直射日光の当たる車内は50度以上になり、10分いただけでも熱中症になります。たとえ数分であれ、エアコンをつけていても、子どもを車に置いて出かけることのないようにしましょう。

最近、熱中症対策として『冷却ジェルシートを貼る』というお話を耳にしますが、『冷却ジェルシート』は熱中症予防や体温を下げる解熱の効果があるものではありません。おでこから下にずれたシートが赤ちゃんの口を覆って窒息してしまうというケースもあります。身体を冷やしたい時は、首や脇の下、太ももの付け根などの大きな血管がある場所を、冷たいタオルや保冷剤をタオルで包んだもので冷やしましょう。

